



「過去の様子」

出演者紹介



やまざき ちひろ

山崎 千裕 / トランペット

東京芸術大学附属高校を経て東京芸術大学卒業。2010年自身のバンド山崎千裕 +ROUTE14band を結成。ジャンルの枠を飛び越え人の心に響く音楽をモットーに結成直後から世界中での活動を行っている。アメリカをは

じめカナダ、韓国、ニュージーランドなど海外公演は50公演以上になる。2014年ソロアルバム「GOOD ONE」でソニーミュージックアーティストよりメジャーデビュー。2017年2nd ソロアルバム「Sweet thing」キングレコードより発売。ゆず、でんぱ組 inc.、SEKAINOOWARI など数々のライブサポートや映画「さらば危ない刑事」エンディングテーマ、任天堂 Switch 「ダービースタリオン」などレコーディング多数参加。



たなか くにかず

田中 邦和 / サックス

思春期に聴いた楽器の音色に魅せられ、以後独学でサックスを習得する。ジャズからロック、インプロビゼーションまで常にトップシーンで活躍。レジェンドから若手まで、内外の一流アーティストとの共演、フェスティバルへの出演

（モンタレー、ニューヨーク、ロンドン、TokyoJazz、Fuji Rock etc）、録音、音楽制作など多忙な日々を送る。これまでに自己のソロを含め、アルバム多数。また中近東や東欧の管楽器にも取り組み、近年はグルメライターとしての執筆活動でも知られ、常に表現の世界を広げている。東京大学文学部卒。



ことう こうじ

後藤 浩二 / ピアノ

1973年名古屋市生まれ。父親の影響で4歳よりクラシックピアノを始め、南山大学入学と同時にジャズに傾倒、在学中より演奏活動を開始。2007年、Harvey Mason(ds)、Larry Grenadier(b) とニューヨークで制作

されたアルバム『hope』は大きな話題となる。2015年、ソロピアノによるアルバム『LaRencontre ~めぐり逢い~』を発表。2019年6月、Mr.Children のレコーディングに『Documentary Film』『Others』の2曲参加する。2023年5月と7月、情家みえ(vo)とのユニット『みえこうじ』のアルバム『Something Big』を発表、全国ツアーを行う。名古屋を拠点に国内外で精力的に演奏活動・作曲活動を続けている。



あわや たくみ

粟谷 巧 / ベース

1985年北海道北見市出身。テナーサックス奏者の父、ピアニストの母の影響で11歳からエレキベースをはじめ、父のジャズバンドに参加。高校卒業後に札幌に出て福居良トリオのメンバーとなり、プロとして活動をはじめ

る。ガット弦から繰り出される表現力豊かな生音と、歌心あふれるプレイが高く評価される。ベニー・グリーンやバリー・ハリスの全国ツアーに起用され、2014年からは渡辺貞夫バンドのレギュラーを務めるなど、トッププレイヤーからの信頼も厚い。2020年に活動拠点を東京に移し、2022年には全編ベースソロによるアルバム『鼓動』を〈Days of Delight〉からリリース。



えとう よしひと

江藤 良人 / ドラム

1973年生まれ、三重県鈴鹿市出身。1994年、土岐英史セッションでデビュー。1996年、辛島文雄トリオでプロ活動を開始。以後、池田芳夫DADA、中本マリ等のバンドに参加。1998年、渡辺貞夫バンドに参加しスイスの「モンテルー・

ジャズ・フェスティバル」に出演。1999年には綾戸智恵のレコーディングとツアーに参加。2006年～2015年は『ルパン三世』の音楽で知られる大野雄二率いる「Yuji Ohno & Lupintic Five」に参加。現在はソロ、自己のカルテットを中心に、佐藤竹善with the Jazz Creatures、石橋凌 with Jazzy Soul、the EROS、Play Rock!!、中牟礼貞則ザ・ギター・トリオ他のグループで活動する。2021年8月『江藤良人/ETOISM』、10月『江藤良人/LIVE ALBUM 2020』をリリース。

会場案内



台東区生涯学習センター ミレニアムホール (台東区西浅草3-25-16)

アクセス

JR山手線・京浜東北線「鶯谷駅」南口	徒歩約15分
地下鉄日比谷線「入谷駅」1番出口	徒歩約8分
つくばエクスプレス線「浅草駅」A2出口	徒歩約8分
都バス	
「入谷二丁目」 徒歩約3分、「西浅草三丁目」	徒歩約5分
台東区循環バス めぐりん	
「生涯学習センター北」「生涯学習センター南」	徒歩約3分
「松が谷」	徒歩約5分